

もくもく通信

Vol.1

R3.5.10 発行

女性センター「木育ひろば」は、令和元年12月23日のオープンから1年5ヵ月を迎えました。

昨年度当初は、新型コロナウイルス感染症の影響から利用者が思うように伸びませんでした。しかし、徐々に利用者が戻りはじめ、オープンから今年3月末まで3,154名のみなさんにご利用いただきました。

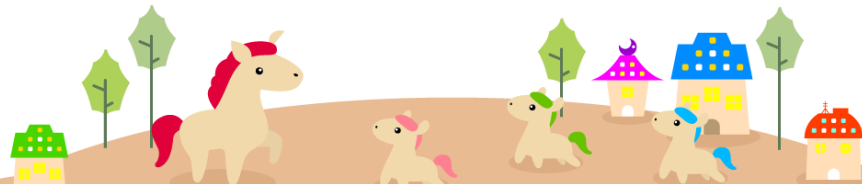
今年度は、「木育ひろば」の利用促進を図ることを目的に年4回（5・8・11・2月）「もくもく通信」を発行し、気になる木のはなしや木のおもちゃの紹介、利用者の声などをご紹介します。記念すべきVol.1では、女性センターの職員を似顔絵で紹介し、4名とも木育インストラクター認定を受けており、ご希望により木のおもちゃの遊び方をレクチャーしますので、お気軽にお越しください。

女性センターの職員を紹介します♪



気になる木のはなし ～春と言えば桜～

日本の野生の桜の代表的な原種と言えばヤマザクラです。ヤマザクラは、伝統工芸品「大館曲げわっぱ」と深い関わりがあります。わっぱを曲げて接着する際、剥がれないようにヤマザクラの樹皮である桜皮を使ったかば縫いをします。なぜ、ヤマザクラの桜皮なのか？伝統工芸士に尋ねたところ「丈夫で縫った際に締まるから」だそうです。かば縫いは伝統工芸の技法として継承されており、美しい秋田杉の木目に茶色の桜皮がおしゃれですね。ヤマザクラの桜皮は強度があるため、昔は工具の持ち手に桜皮を巻いて使っていたそうです。先人の知恵は凄い！桜皮はとても貴重なものなんだそうです。目からうろこでした。（河）



木育ひろばの木のおもちゃ紹介をシリーズで紹介しします♪

1 【KItOETeTo】「謹製 百年杉の森の積み木」

特製の曲げわっぱにおさめられた「^{きんげい}謹製 百年杉の森の積み木」。“樹齢百年を超える秋田杉”からできていて、(株)大館工芸社さんの百年杉を知り尽くし卓越した技術を誇る職人が作ったこだわりの積み木です。大館の伝統工芸から*KitOETeToの木のおもちゃが誕生しました。

並べて街をつくってみたり、重ねてバランスをとったり、おままごとの道具にしたり、遊んだあとは曲げわっぱの中にピットイン！遊びながら知育を育み、お片付けが身につきます。玄関にオブジェとして飾っている方もおり、杉は消臭効果もあります。木肌と木目に癒されるおもちゃです。

*KitOETeToは、^{キトテト}APTと^{アプティ}日本のおもちゃの作り手により作られた MADE IN JAPANの木のおもちゃです。

「謹製 百年杉の森の積み木」



ドミノ倒しなどさまざまな遊び方ができます！

◀ 「木育ひろば」ご利用のお知らせ ▶

月～金曜日 9～21時、土曜日 9時～17時
日曜日・祝日は休館日のためご利用できません。
主催事業によりご利用できない場合があります
ので、市ホームページにてご確認ください。

【女性センター】 ☎ 49-7028

E-mail josei@city.odate.lg.jp

似顔絵協力：小畑治隆 様
取材協力：(株)大館工芸社 様
取材担当：女性センター河田

「もくもく通信」の発行は大館市教育委員会生涯学習課が行っております。お問い合わせは☎43-7113 まで。